小学校第６学年

国語　B

注　意

１　先生の合図があるまで、中を開かないでください。

２　調査問題は、１ページから18ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。

３　解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。

４　解答は、ＨＢまたはＢの黒えんぴつ（シャープペンシルも可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。

５　解答時間は、40分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

６　机（つくえ）の上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、男女、個人番号①、個人番号②をまちがいのないように書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

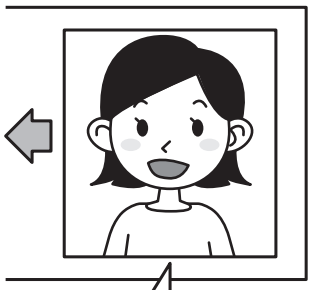
1

石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介（しょうかい）するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、**【スピーチメモ】**、**【スピーチの練習の様子】**、**【グループの話し合いの様子】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

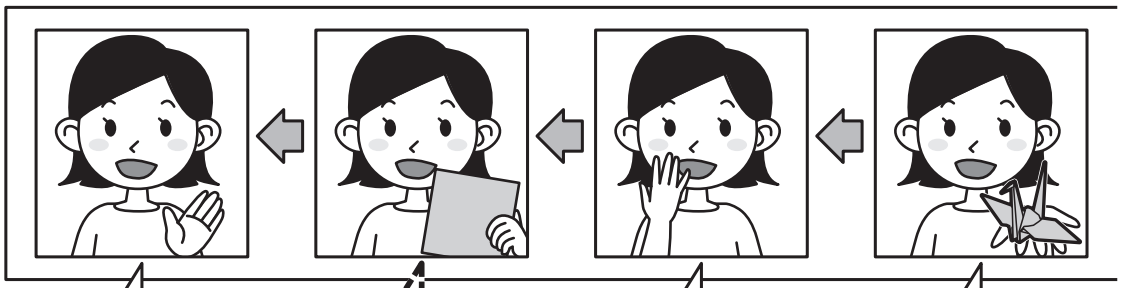
【スピーチメモ】

1　折り紙とは（紙を折って、いろいろな形を作る遊び）
2　自分の経験（実際に「つる」を見せる）
3　折り紙の例（「風船」「紙飛行機」「手裏剣（しゅりけん）」など）
4　折り紙のみりょくとは
（色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができること）
（体験コーナーのしょうかい）
5　まとめ

【スピーチの練習の様子】（動画で記録したもの）



私（わたし）は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供（こども）から大人まで楽しむことができます。



私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

他にも、「風船」、「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒（いっしょ）に作ると楽しいです。

折り紙のみりょくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと、私は思います。

このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。

これで、折り紙の紹介を終わります。

【グループの話し合いの様子】

北川　石田さんのスピーチ、よかったね。
上野　表情がとても明るくて、折り紙のことを伝えたいっていう気持ちが伝わってきたよ。
北川　実物の「つる」を見せているのも、分かりやすかったね。それと、今回スピーチメモを使ってみてどうだったかな。
上野　スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな。
石田　うん、できていたと思うよ。それに、必要なときにだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。
北川　確かにできていたね。他に気をつけたいことはあるかな。
石田　全体的に早口になっているように思うので、そこを直したいな。
北川　そうだったかな。動画を見てみよう。

〜（動画を見る）〜

上野　そうだね。日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね。
北川　それから、石田さんが一番伝えたいことが伝わるかどうかが大事だよね。
石田　私は、折り紙のみりょくを一番伝えたいな。
上野　それなら、折り紙のみりょくをもっとたくさん伝えた方がいいんじゃないかな。
北川　折り紙のみりょくは、どこでも手軽にできることだと思うよ。
上野　ぼくは、紙一枚（まい）から立体的な形ができるということがみりょくだと思うな。
北川　「手裏剣」のように、組み合わせて形をつなげられることもみりょくだよね。
石田　折り紙のみりょくはいろいろあるんだね。みんなの意見を参考にして、もう一度考えてみるね。

一　石田さんのグループは、**【グループの話し合いの様子】**の［　　］において、どのような目的で動画を見ていますか。その説明として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　調べて分かったことをいくつ伝えているか、整理するため。

2　よい点を多く見つけて、他の人の参考にしてもらうため。

3　相手に応じた話し方の改善点（かいぜんてん）について、確かめるため。

4　姿勢（しせい）や表情に気をつけて話していたか、ふり返るため。

二　石田さんたちは、グループの話し合いの中で、スピーチメモを使うことについてどのようなよさがあると考えていますか。**【グループの話し合いの様子】**の言葉を使って、**四十字以内**で書きましょう。

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

◆

40字

三　石田さんは、友達の助言を受け、**【スピーチの練習の様子】**の中の□について、もう一度考えています。石田さんは、どのように話すとよいですか。その内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○　折り紙のみりょくについて、【スピーチメモ】と【グループの話し合いの様子】で出された意見から、それぞれ取り上げて書くこと。

○　スピーチとしてふさわしい言葉づかいにすること。

○　書き出しの言葉に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

折り紙のみりょくは、◆

100字　80字

問題は、次のページに続きます。

【緑のカーテン作りへの協力のお願い】

緑のカーテン作りへの協力のお願い

６年１組　森・中村・秋山

緑のカーテンとは

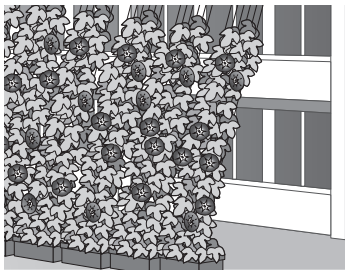
夏が来ると、教室が暑くなってこまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作ることにしました。

緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日ざしをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。

中には布のカーテンをしめればよいという人もいるかもしれません。しかし、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げることができます。例えば、『**緑のカーテンを始めよう**』という本には、「［　**ア**　］」と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのくふうの一つなのです。

緑のカーテンの作り方

わたしたちは、できれば１階から３階までの全教室をおおうように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。



１　大きな植木ばちを用意し、肥料と土を入れて１階に置く。
２　１階から３階までネットをはる。
３　アサガオの種をまく。
４　たくさんの水をやる。
５　一番太いつるが１ｍぐらいになったら先の芽を切る。
６　芽が分かれてのびてきたらネットにまきつける。
７　７月になったら肥料を追加する。

水やりに協力してくれる人をぼ集します

2

森さんたちは、「緑のカーテン」を作るため、同じ学年の友達に協力してほしいと思い、次の**【緑のカーテン作りへの協力のお願い】**を書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

一　森さんたちは緑のカーテンを知らない人にも、緑のカーテンが必要な理由を伝えようと、文章の構成をくふうしました。そのくふうとして最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　夏の教室が暑いとどう困(こま)るのかの具体例を、最初に書いている。

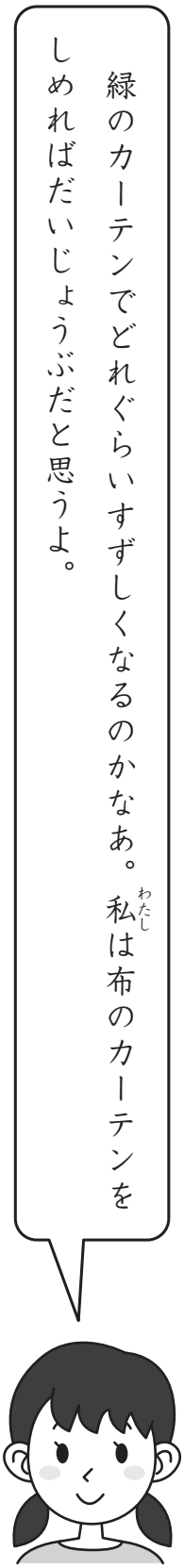
2　最初と最後の段落(だんらく)に、水やりに協力してほしいということを書いている。

3　緑のカーテンの作り方について要約した文章を、最初に書いている。

4　緑のカーテンの説明を、緑のカーテンの作り方の前に書いている。

二　森さんたちは、次の**【友達の考え】**と同じ考えの人を説得するために、本から文を引用して［ア］の部分を書きました。引用するのに最も効果的な文を、あとの**【『緑のカーテンを始めよう』の一部】**の①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【友達の考え】



【『緑のカーテンを始めよう』の一部】　文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

①緑のカーテンは外から部屋に入ってくる熱をどれぐらい防ぐことができるのでしょうか。②緑のカーテンでおおった場合と、布のカーテンをしめた場合とで比べてみました。③実験から、布のカーテンでは熱の３割しか防ぐことができませんが、緑のカーテンでは８割も防ぐことができることが分かりました。④緑のカーテンでおおうことによって、冷房の設定温度を上げることもできます。

三　森さんたちは、緑のカーテンを作ったことのある中学生からの**【アドバイス】**をもとに、**【緑のカーテン作りへの協力のお願い】**の［　　］の中を書いています。次の［　　］の中の**イ**に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【アドバイス】

去年、わたしたちも緑のカーテンを作ったよ。おかげですずしい夏が過ごせたんだ。でも、水やりがとても大変だったなあ。

まず、毎朝水をやらないとすぐにかれてしまうんだ。朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらしおれかけていたこともあったよ。

それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。

水やりは大変だったけれど、すずしい夏が過ごせて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。

何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。

水やりに協力してくれる人をぼ集します

大きな緑のカーテンを作るためには水やりが大切です。しかし、水やりはとても大変です。なぜなら、

イ

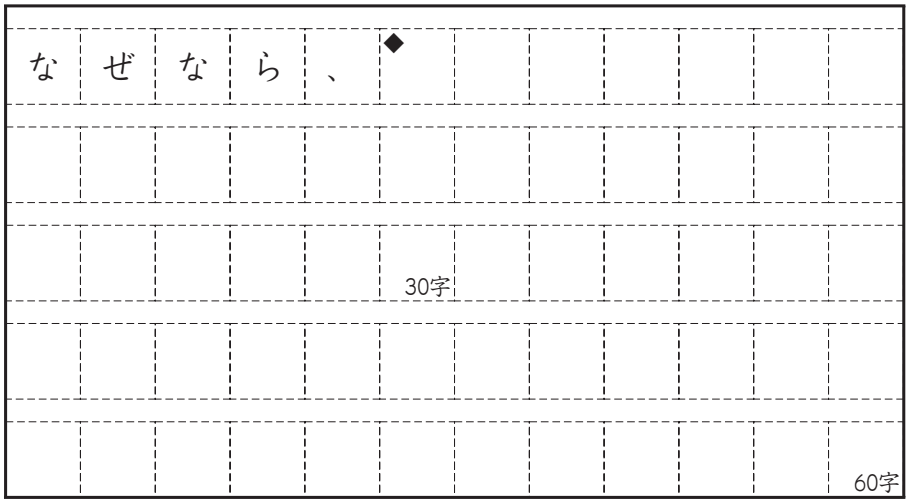
このように水やりはとても大変なので、たくさんの人の協力が必要です。協力してくれる人はわたしたちに声をかけてください。ぜひいっしょに大きな緑のカーテンを完成させ、全校ですずしい夏を過ごしましょう。

〈条件〉

○　水やりが大変な理由を【アドバイス】から二つ取り上げて書くこと。

○　【緑のカーテン作りへの協力のお願い】にふさわしい表現で書くこと。

○　書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。



※上の原稿(げんこう)用紙は下書き用なので，使っても使わなくてもかまいません。解答は，解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで，続けて書きましょう。

問題は、次のページに続きます。

3

大岩さんの学級では、あまんきみこさんが書いた「きつねの写真」という題名の物語を読み、それぞれが考えたことについて、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は、**【物語の一部】**と**【話し合いの様子の一部】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ

ごんざ山に、松ぞうじいさんという木こりが孫のとび吉（きち）と二人で住んでいました。そこに、山野さんという新聞記者がきつねの写真をとりに来ました。

【物語の一部】　①・②・③・④・⑤の内容は、あとの**【話し合いの様子の一部】**で取り上げられます。

たずねてきたのは、山野さんという、まだわかい新聞記者でした。山野さんは、いっしょうけんめいにいいました。

「こんどの日曜版に、きつねの特集をやるんです。それで、このごんざ山にはきつねがいるということですので……、その写真をとおもいまして。」

そこまできくと、松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました。

「いねえ、いねえ。ごんざ山のきつねはいねえ。①人間にうちとられたり、病気にかかったりしてのう。」

山野さんは、それでもむりにたのみました。

「せめて、きつねのすんでいた穴（あな）だけでもいいですから、写真にとって帰りたいのですが。」

何回も熱心にそういわれて、松ぞうじいさんは、こまったように首をふっていましたが、やがて立ちあがりました。そして、

②「ついてきなせえ。」

と、ひとことといいました。

〜（中略）〜

「あの下をさがしなせえ。わしは、仕事があるだで。」
松ぞうじいさんは、ふしくれだった太い指できりかぶのほうをさしてから、さっさと林の中にもどっていきました。
山野さんがよく見ると、かやの葉のみどりにかくれるようにして、きつねのすんでいたらしい小さな穴が、あちらにもこちらにもあるのです。
「ほう、ほう、こりゃあ、いい。」
胸がわくわくしてきました。かしゃっ、かしゃっ。山野さんは、むちゅうでシャッターをきりはじめました。
やっと写真をうつすのをやめたとき、まるでまっていたように、
「すんだかね。」
という声がしました。ふりかえると、もうちゃんと、松ぞうじいさんが立っていました。
「ええ、おかげさまで。」
と、山野さんが白いぼうしをとって礼をいいかけると、松ぞうじいさんは、いかにもうるさそうに手をふってさえぎりました。そして、そばの松の木をとんとんとたたいて、
「とび吉、こっちへ、こう。」
と、よびました。
すると、③あたりの木がいっせいにざざっとゆれてよびました。
とび吉　こっちへ　こう
それから、林の木がこだまするようにじゅんじゅんにさけびながら、葉をゆすりだしたのです。
こっちへ　こう
こっちへ　こう
こっちへ　こう
「きたよ。」
おや、かわいい声が。そこには、もう、小さないがぐり頭のとび吉が、にこにこして立っていました。
「なんぞ用かい？　おじい。」

松ぞうじいさんはうなずいて、ふしくれだった手をちょっとかざすようにして、ちょうど顔にあたっている夕日の光をさえぎりながらいいました。

「近道をいそいで、ふもとの三本松まで案内するだ。山の日は、はようしずむで。」

それは、おもいがけないほどやさしい声でした。うん、わかってる、と、とび吉がうなずいたとき、④山野さんは、むかいあったふたりをぱちりとうつしました。

～（中略）～

ごんざ山でうつした写真です。

さて、どれをえらぼうかと、山野さんは、一まいずつていねいに見はじめました。そのうち、山野さんの目がまるくなりました。

⑤「き、きつねの写真だ。」

むかいあった大きなきつねと小さなきつね！　大きなきつねは、ひたいに手をかざしています。

（いったい、いつ、うつしたんだ？）

しばらく見ていた山野さんの耳に、

「山の日は、はようしずむで。」

といった、松ぞうじいさんのしずかな声がきこえてきました。

（そうか。たった二ひきだけ、のこっていたんだな。）

山野さんはうなずくと、ひきだしのおくに、きつねの写真をそっとしまいました。

（これは、なかったことにしよう。）

たばこに火をつけました。

そして、そのたばこのけむりを見ながら、

（あのふたりに、おいしいものでもおくってやろう。どんなものをよろこぶかな。）

と、そんなことをせわしく考えはじめました。

（あまんきみこ「きつねの写真」による。）

【話し合いの様子の一部】

横山　あまんきみこさんの「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。

原　（③を示しながら）「あたりの木がいっせいにざざっとゆれてよびました」というところで［A］感じがすると思ったんだけど。

大岩　そうだね。［A］ことといえば、松ぞうじいさんととび吉はきつねだったのかな。

田中　二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きっときつねだよ。

原　ア どこからそう思うの。

田中　（④を示しながら）「山野さんは、むかいあったふたりをぱちりとうつしました」とあるでしょ。

横山　そうだね。それに、（⑤を示しながら）「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。

原　きっときつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあるかな。

大岩　（②を示しながら）ここで、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私（わたし）は、ここからもきつねってわかる気がするんだけれど、どうかな。

田中　私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。イ 田中さんの言いたいことはそういうことでいいのかな。

原　そうそう。

田中　（①を示しながら）ここにもあるよ。「人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。

横山　そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

［B］

～（話し合いが続く）～

一　**【話し合いの様子の一部】**の［A］の中に入る言葉として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　にぎやかな

2　不思議な

3　かわいそうな

4　親切な

二　**【話し合いの様子の一部】**の中の〰〰部**ア・イ**の発言は、この話し合いの中で、それぞれどのような意図がありますか。最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　考えのもととなる文章中の表現を明らかにしようとしている。

2　言葉の意味が理解できず、その意味を知ろうとしている。

3　今まで出ていない考えを引き出そうとしている。

4　自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしている。

三　【話し合いの様子の一部】の中の　B　のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

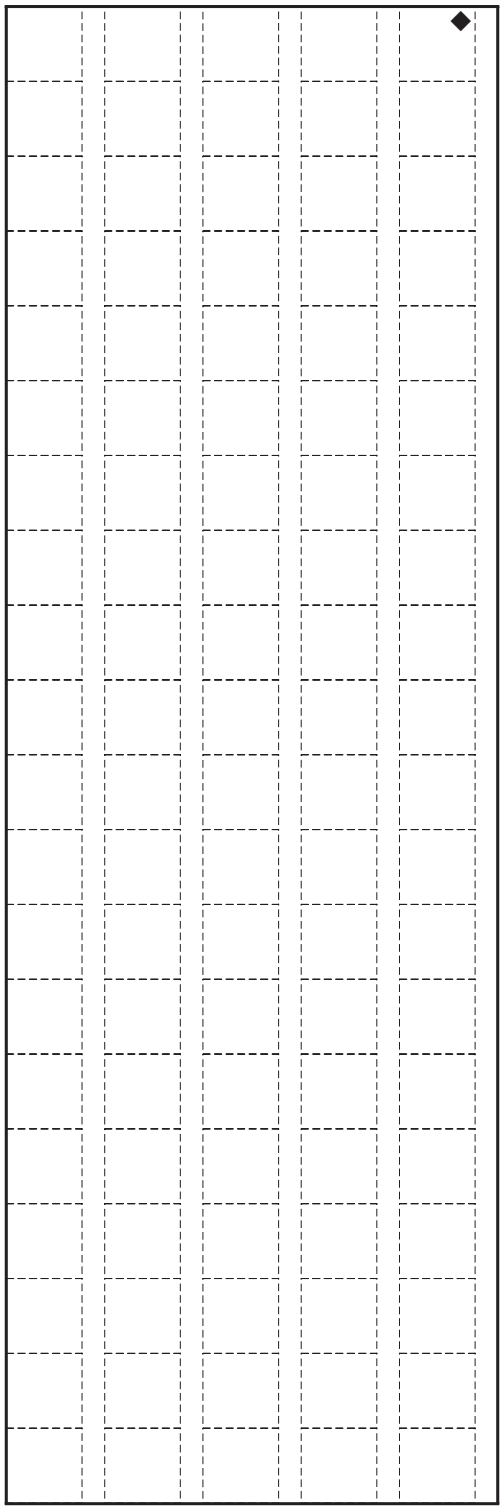
〈条件〉

○　［　　］の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○　取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。

○　六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。



これで、国語Ｂの問題は終わりです。